

赤とんぼ開設

10年目のあいがとう

ながみねクリニック歯科

ながみねクリニック歯科が誕生して10年目を迎えました。地域の皆さん、ながみねクリニックの患者さん、ケアセンター赤とんぼの利用者さんなど多くの方々のご利用に対して、心より御礼申し上げます。これからも口腔ケアを通して、皆さまの快適な暮らしのお手伝いをさせて頂ければと願っております。(スタッフ一同)



「振り返ってみると、我ながらよく続いている歯科治療」

井上 博さん (小峯2丁目)

私は大正の末期韓国の寒村で生まれ、子供の頃抜けた上歯は溝に、下歯は屋根に投げて生え変わる歯の無事を祈ったことを覚えている。また

歯ブラシは馬の尻尾で作ったものだったが塩を付けて磨いていた。お陰様で30歳半ばまで歯科医を尋ねたことがなかった。

定年を迎えこれまでに何度か歯科医を尋ねたことはあったが、80歳を越え歯のぐらつきが歯槽膿漏であることを知り、ながみねクリニック歯科医の勧めにより、1週間に1回の治療を1年間、2年目から2週間に1度の治療を受けている。振り返ってみると我ながらよく続いていると思うが、簡単に考えていた歯槽膿漏の恐ろしさを知ったからだった。また、朝の歯間ブラッシングも以前に比べ出血が少なくなったこともある。時にはブラッシングを忘れ治療に駆けつけることもあったが、平素と変わらぬ笑顔で処置していただき、先生と衛生士さんには感謝している。

遅まきながら、自信があるからと放置せず、定期健診を受けることが大切なことを改めて知り、これからも医師の指示に従って治療をつづけ、残された人生を悔いなく楽しむことにしている。



「ここは天国よ」

ショートステイご利用の
硯川節子さん (戸島2丁目)

歯医者さんは別のところに掛かっていたけど、赤とんぼの通所利用が始まってからはながみねクリニックの歯医者さんに替わり、今も見

てもらってやがて10年になります。

週2回ほど、定期的に見てもらっているのので、調子はいいですね。

「ここは天国ですよ」車椅子のまま治療が出来ますからね。最初の頃は、杖やシルバーカーで歩いて行けてただけど…

入所している時は、帰りに連れて行ってくれるし、衛生士さんはみんな美人だし(笑)。

今、一番の楽しみはカラオケです。演歌です。歌は好きだし、耳が超えているので私の特技です。5月に行なわれる「カラオケお楽しみ大会」にもチャレンジします。



「親子で通院しています」

長男の鳥飼祐介さん (長嶺南6丁目)

小学生の頃から、赤とんぼの歯医者さんには通院していました。

幼い頃は、歯医者さんが怖くて嫌いでした。しかし、ここの歯科に通院するようになってからは、怖い

というイメージはいつの間にか消えて逆に楽しいイメージが頭の中にはありました。なぜかと言うと、ここの歯科の先生方はみんな優しく毎回楽しく話していただけるので、治療も楽に受けることができ、時間が経つのもとても早く感じてしまいます。

いつ訪れてもいつもと変わらない態度で接してくれ、歯のどこが悪くなっているかの詳しい説明や、正しい歯磨きの仕方など丁寧に教えていただきました。そのため普段の歯磨きの意識が変わり、自然と身に付きました。

気が付けば私は高校を卒業し、もう熊本を離れるので、この歯科を訪れるのは暫くないと思いますが、ここで教えてもらったことを忘れないように日頃の歯磨きもしっかりと行い、健康な歯であり続けたいと思います。



「これからも、宜しく願います」

ながみねクリニックで透析治療を受けられている野村幸一さんにお聞きました。(尾ノ上1丁目)

ながみねクリニック歯科では、透析患者さんのお口の健康をとて

大事に考えて、仁誠会全ての患者さんを対象に無料定期健診を年1回行っています。

野村さんは、ながみねクリニックの開院の時から透析治療を受けられ、ながみねクリニック歯科も定期健診後治療を始められ、10年目になります。

野村さんにとっては「同じながみねクリニックに歯科があるのがとても便利で、先生はじめスタッフが親切に診てくれ、治療後の経過も良く、これからも通院したい」と言われています。

透析治療の専門スタッフと、歯科のスタッフが、共に一人の患者さんの健康を診合っていくながみねクリニック歯科です。もっともっとお口の大切さを伝えていきたいと思